

進路だより

進路委員会 (3年)

# Let's begin

発行日：令和3年7月21日

## 特集 「進路閲覧室の紹介」

### ○はじめに

皆さんは、進路閲覧室に入ったことがありますか？進路閲覧室には、大学・短期大学・専門学校や企業の情報など全ての資料を合わせると1000を超えています。進路を達成するために一番大切なことは、情報収集といっても過言ではありません。ですから、この進路だよりを見て進路閲覧室を有効に活用してほしいです。

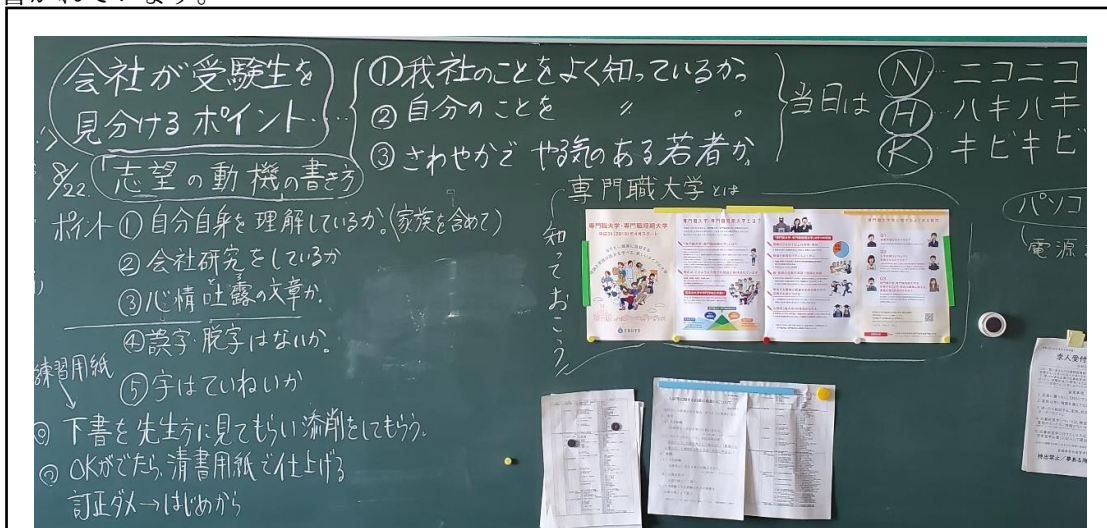
### ○進学を希望する人向け

大学・短大・専門学校に進学しようと考えている生徒に活用してほしいのは、壁一面に並んでいるボックスです。一つ一つ学校ごとに分けられています。この中には、学校のパンフレットや進路状況、過去問さらには先輩方が面接した際に聞かれたことなどたくさんの情報が詰まっています。進路関係の先生やコーディネーターさん、卒業した先輩方が在校生のために残してくれたものです。是非活用しましょう。※持ち出し禁止



## ○就職を希望する人向け

進学する生徒が多い登米高ですが、公務員や企業への就職など、高校を卒業してすぐ社会に出る人も少なくありません。就職を考えている生徒は、黒板の内容をチェックすることをオススメします。黒板には、求人情報はもちろんのこと社会に出るにあたって重要なことが書かれています。





## ○他にも、、、

進路閲覧室には、他にも小論文の書き方の本や面接対策の本などが多数あります。小論文は普段の授業では学べないので、受験科目に小論文がある人は、是非こちらを活用してください。また、どの進路を選択しても面接対策は必要になってくると思います。具体的な面接練習は三年生になってからになりますが、早い段階で対策しておくことが良いでしょう。廊下には無料の資料がたくさんあります。自分の興味がある職業の資料があるかもしれません。定期的に確認してみましょう。

## ○最後に

進路関係の先生やコーディネーターさんは私たちの進路達成のために日々忙しく、また親身になって相談にのってくださいます。これを見て進路閲覧室を有効に活用し、皆さんの進路に役立ててほしいです。



## ○編集後記 （第一号の編集担当・三学年の進路委員より）

- ・進路だよりを制作するにあたって情報を知ることができ求人情報についても知ることができてよかったです。
- ・進路だよりを制作するにあたって進路閲覧室にはたくさんの情報があることを改めて実感し、その重要性を強く感じました。
- ・進路だよりを制作して思ったことは、情報を伝えることの難しさです。進路委員みんなで頑張りました。
- ・今回初めての進路だよりを作り、便利なところだと知ったのでこれからは進路決定のために活用していきたいです。
- ・制作を通して受験へのモチベーションが高まりました。スムーズに行うことができてよかったです。
- ・制作するにあたって伝えたいことをまとめ、言葉にすることの大変さを学びました。良い経験になりました。
- ・大学、就職など様々な情報があることが分かりました。入試情報などもあるのでもっと閲覧室を活用してほしいです。
- ・制作するにあたってたくさんを知りました。進路に関わる大切な情報があるので、皆さんの将来にぜひ役立ててほしいです。

